

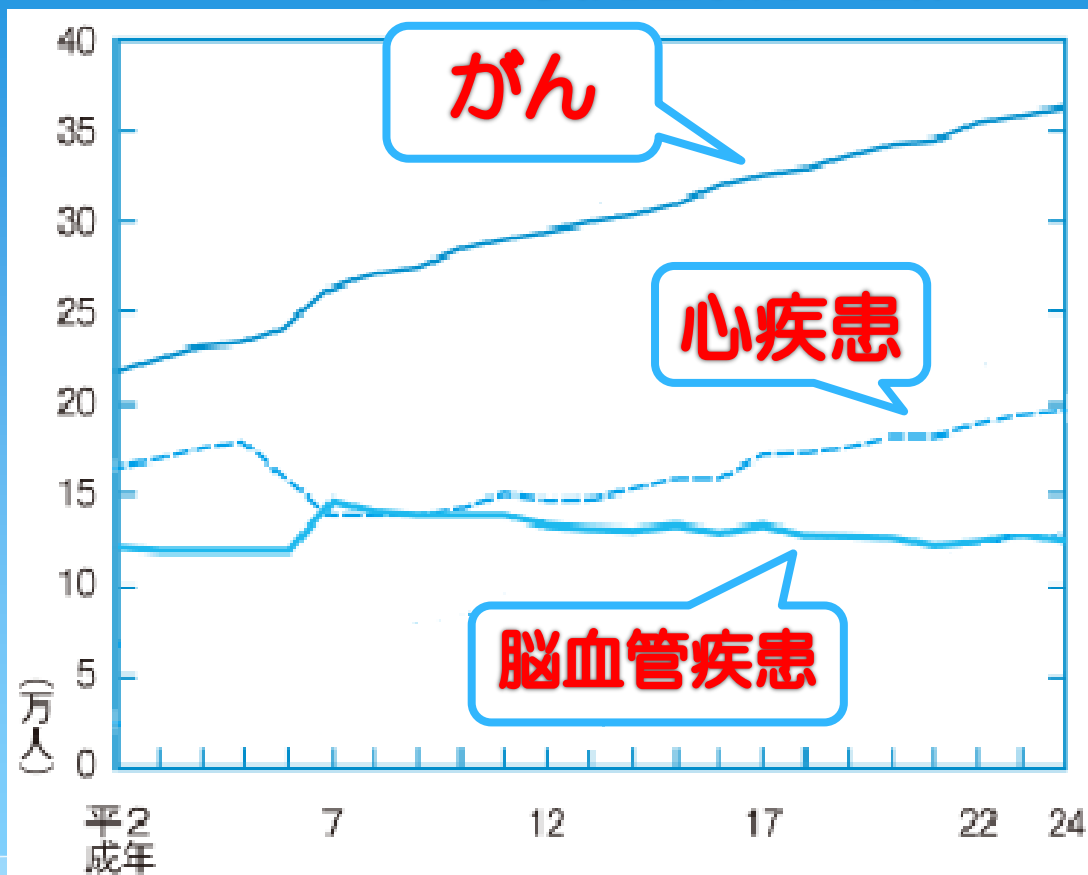
がんについて 学ぶ授業

平成26年度 がんの教育総合支援事業

平成26年11月
大阪府立芥川高等学校

がんという病気

主要死因別死亡者数



総務省統計局資料

国立がん研究センターがん対策情報センター「知っておきたいがんの基礎知識」から引用
2010年データに基づく累積罹患リスク及び2012年データに基づく累積死亡リスク

がんという病気

がんになる
確率

がんで死亡する
確率

生涯では
60%

生涯では
26%

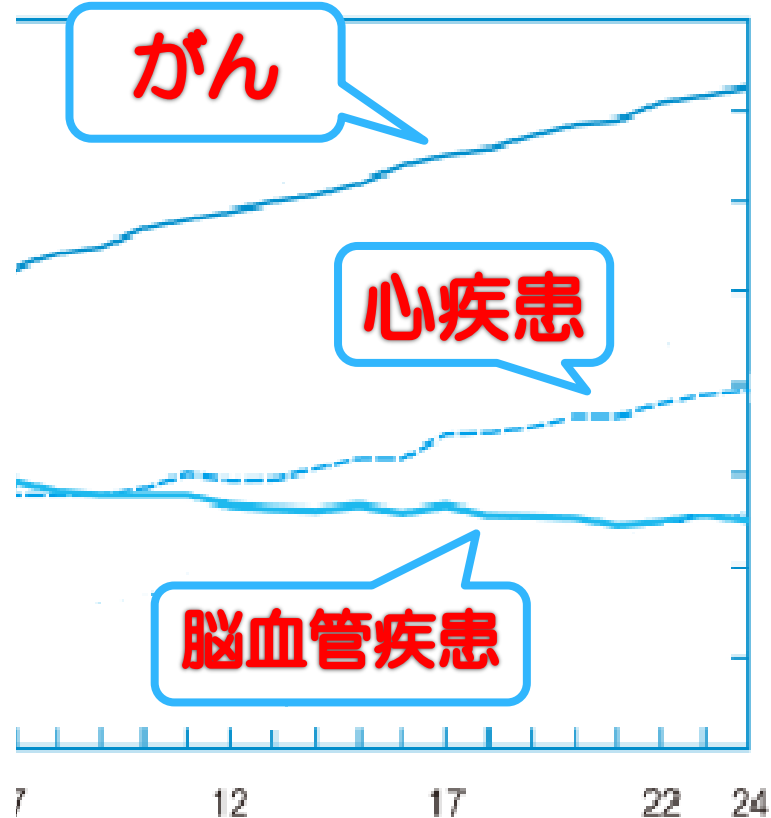


生涯では
45%

生涯では
16%



主要死因別死亡者数



総務省統計局資料

国立がん研究センターがん対策情報センター「知っておきたいがんの基礎知識」から引用
2010年データに基づく累積罹患リスク及び2012年データに基づく累積死亡リスク

がんの発生と進行の仕組み

「正常細胞」 → 「異常な細胞」 → 「がん化」 → 「腫瘍形成」 → 「^{しんじゅん}転移・浸潤*

遺伝子の傷
異常な細胞が
ふえたり
周りに広がる

がん細胞がかたまりと
なり周りに広がったり、
移動しやすくなる

さらに遠くの
組織・臓器に広がる



がんの発生と進行の仕組み

「正常細胞」 → 「異常な細胞」 → 「がん化」 → 「腫瘍形成」 → 「転移・浸潤*」

遺伝子の傷 異常 がん がん しんじゅん

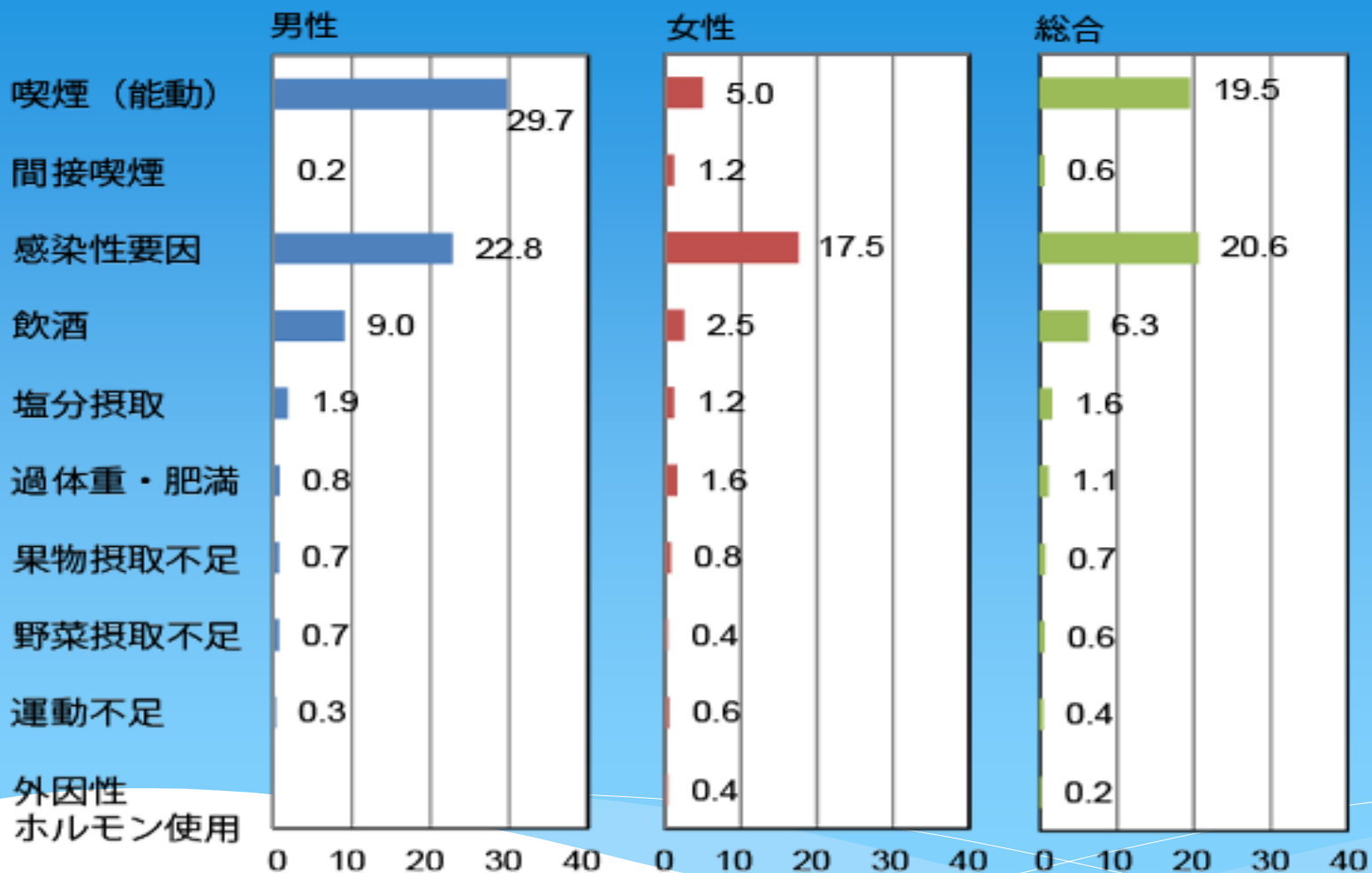
そうか **がん** は、

**体の中で異常な細胞が
増えてしまう病気**

なんや！



がん発生のリスク要因



国立がん研究センター「科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」から引用

がん発生のリスク要因



国立がん研究センター「科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」から引用

部位別の がん罹患率



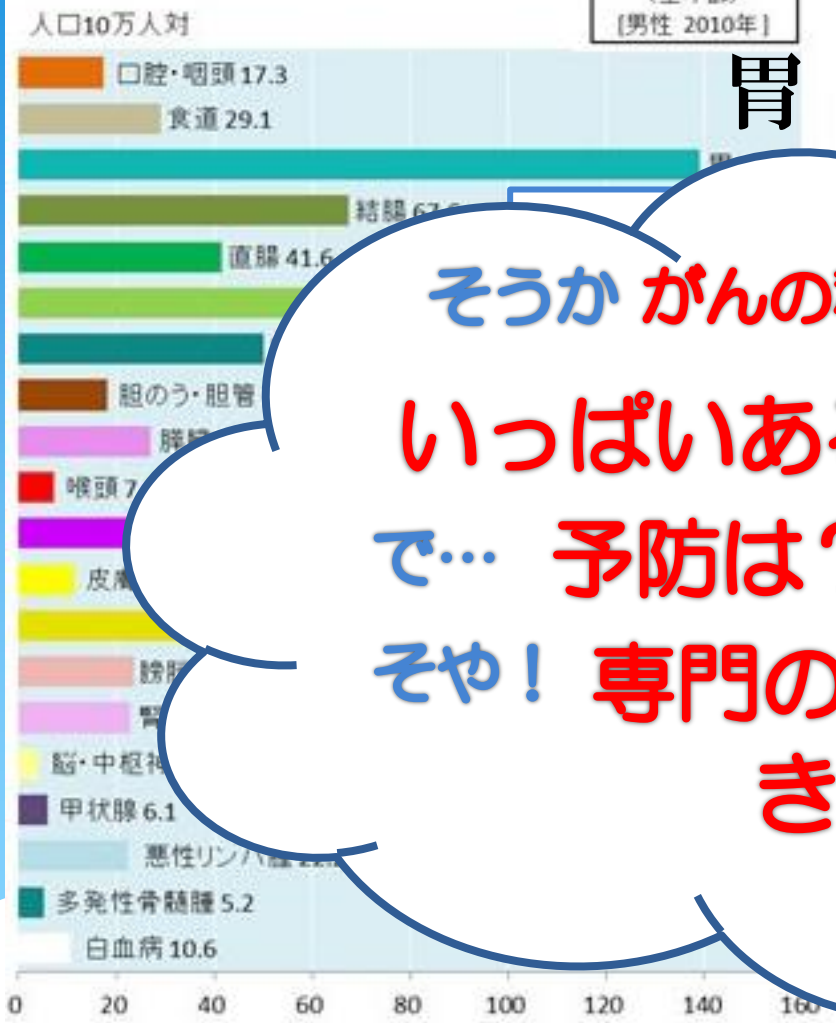
資料: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター



資料: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

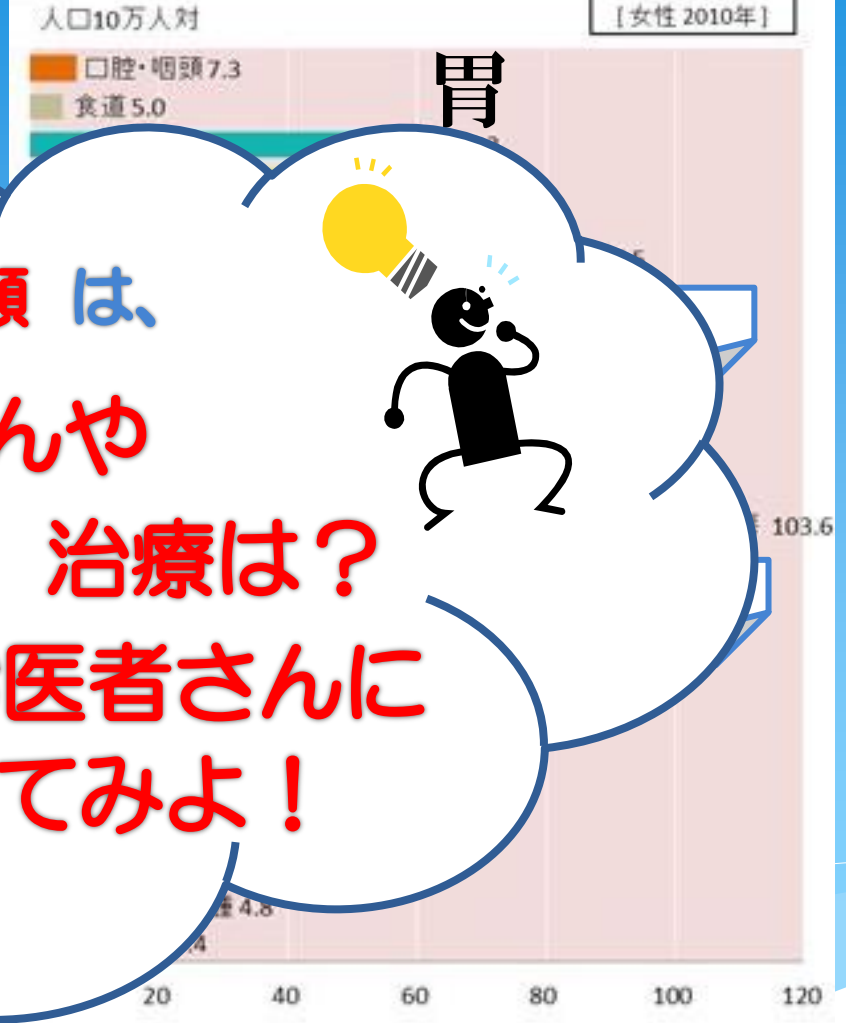
部位別の がん罹患率

部位別がん罹患率
(全年齢)
[男性 2010年]



胃

部位別がん罹患率
(全年齢)
[女性 2010年]

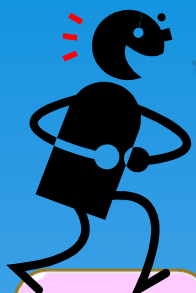


胃

そうか **がんの種類** は、
いっぱいあるんや
で… 予防は？ 治療は？
そや！ 専門のお医者さんに
きいてみよ！

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター



がんの治療ってどんなことするんですか？
最先端の治療法についても教えてください

緩和・支持療法（症状コントロール）

手術

- ・ 局所療法
- ・ ロボット手術



放射線治療

- ・ 局所療法
- ・ 高精度放射線治療



抗がん剤

- ・ 全身療法
- ・ 分子標的治療薬
- ・ がん遺伝子を調べた個別化治療





がんを予防する方法ってあるんですか？

たばこは吸わない

規則正しい生活習慣

(食生活を見直す、身体を動かす、適正体重を維持する 等)



がんになるリスクが
低くなります



がん患者さんとそのご家族の日常について
エピソードがあれば教えてください

「がん」に立ち向かうには独りでは困難です。
支えてくれるご家族と何でも正直に話し
相談することが大切だと感じています。
一緒に泣いたりすることもあるでしょう、
笑ったりすることもあるでしょう、それが
「がん」と向き合うということなんだと思っ
ます。私達、医療従事者もそんな患者さん
たちを一生懸命に支援していきます。



大阪医科大学附属病院
がんセンター
藤阪保仁



最後に、がん予防のために私たち高校生ができることは何ですか？

- ✓ 自分ができること
 - ✓ たばこは吸わない
 - ✓ 他人のたばこの煙を避ける
 - ✓ 規則正しい生活習慣を身につけよう
- ✓ 身近な人に対してできること
 - ✓ 症状がなくても「がん検診」を定期的に受診してもらいましょう



国立がん研究センターがん対策情報センター

「科学的根拠に基づくがん予防」から引用「がんのことをもっと知ろう-指導書-」から引用



大阪医科大学附属病院
がんセンター
藤阪保仁

何より“がんは身近な病気であり、**リスクを減らすことができる**”ということ意識し、健康や命に関わる問題に常に関心を持ってください。
健やかな未来は皆さんの前に大きく広がっています。

がんの特化した保健の授業はどうでしたか？
残りの時間で感想や意見を書いてください。

メッセージ

『がん』という病気への正しい理解と
検診率向上のカギを握っている
のは・・・君たち高校生です。

**今日からできることを
考えてみよう！**

